

「行政相談」をもっと知ってもらいたくて —行政相談おすすり大使の活動から—

中島 美華



青森行政評価事務所から『行政相談』や『行政相談委員』を広報する『行政相談おすすり大使』に委嘱したいとのアプローチがありました。

『行政相談』という言葉も詳しく知らなかった私にお声をかけていただき、大変感謝しています。知れば知るほど、多くの人に『行政相談』や『行政相談委員』のことを知ってほしいと思ったのが、お引き受けした一番の理由です。

ドキドキしながら委嘱状を受け取った平成28年度行政相談委員全体会議の会場。優しいような人生の先輩方が揃っていました。私のような若輩者が、本気で心配になりました。しかし、青森県内40市町村すべてに行政相談委員がいる！全国では約5000人？！なぜ今まで知らなかったのだろうか。自分もビックリです。行政相談委員の皆さんの顔を見ながら、改めて『行政相

談』を知っていたかどうかお手伝いをしようと思っただけのことを思い出します。まず、身近な人たちに話してみました。ほとんどが『行政相談』を知りませんでした。「へえ、いいねえ」と言ってくれた。



「行政相談おすすり大使」の委嘱状とともに
委嘱期間は、平成28年5月20日～29年3月31日

のですが、何を相談したらいいのかわからないというのが正直な気持ち。何が『行政』で、何が『行政』じゃないのか、ピンとこないのです。また『行政』の決まりごとは守ればいいんだ、守らなくちゃいけないん



「行政相談」と「行政相談委員」という言葉とその活動をより多くの人に知ってもらいたいと挨拶



行政相談出前トークのステージ上で。改善事例パネルの内容について説明中



行政相談委員との掛け合いで会場を沸かせました



会場に行政相談の利用をおすすめ

だと自然に思っています。ブツブツ言うことはあっても、それを声に出して言おう！伝えよう！とまではならないのです。「連絡先はクリアファイルについていますよ」そう案内して、見てビックリ。『0570-090110』へおこまりならまるまるくじょーひゃくとおぼん……苦情って言いにくいですよ。きつと、昔は「苦情」だったんだろうけれど、今は「意見・要望・提案」な気がします。

行政相談出前トークをお手伝いさせていただきます、パネルを使って具体的な事例を紹介しました。例えば、道路で見かける塗

装の剥げかかった看板のこと。車道側に投函口がある郵便ポストのこと。大木の枝の隙間を通る電線のこと。普通に暮らしている私たちは、あれ？とは思っても大抵は仕方ない、しょうがないで我慢してしまします。

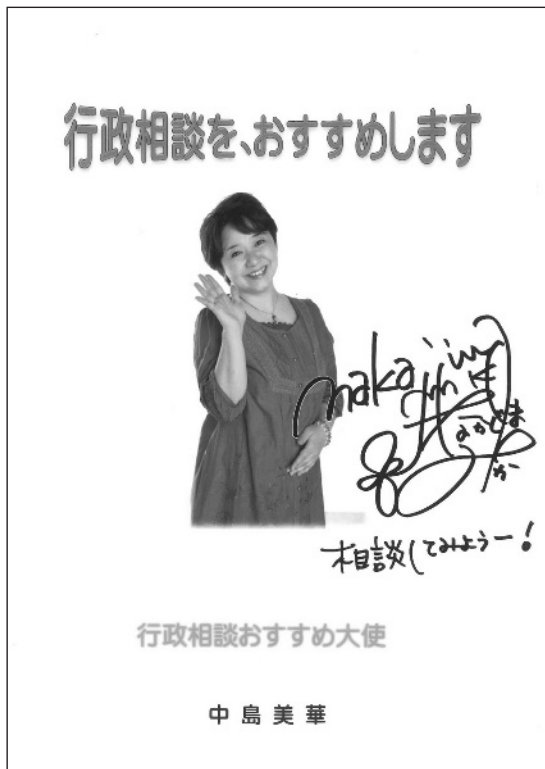
でも、私たちの声が進んた暮らしを改善するかもしれない。10年後、20年後、こうしておいてよかったねと言えるような改善につながるかもしれない。はたまた、自分の地域だけのことと思っていたけれど、もしかしたら全国の似たような地域にとって良いことになるのかもしれない。

行政相談に届く一言が、行政相談委員が

検討する一事が、誰かのお役に立てる可能性があるんだと思ったら、ワクワクしました。

「行政相談おすすめ大使」としてマイクを持って『行政相談』についてお話ししているとき、横のテーブルに相談する方が座りました。通り過ぎようとした人が足を止めて、スタッフと話し始めることもありました。そんなとき、少しだけお役に立てたかもしれないって心が温かくなりました。

情報が溢れ、いろんな窓口があり、複雑化していく世の中ではありますが、『行政



クリアファイル(表)



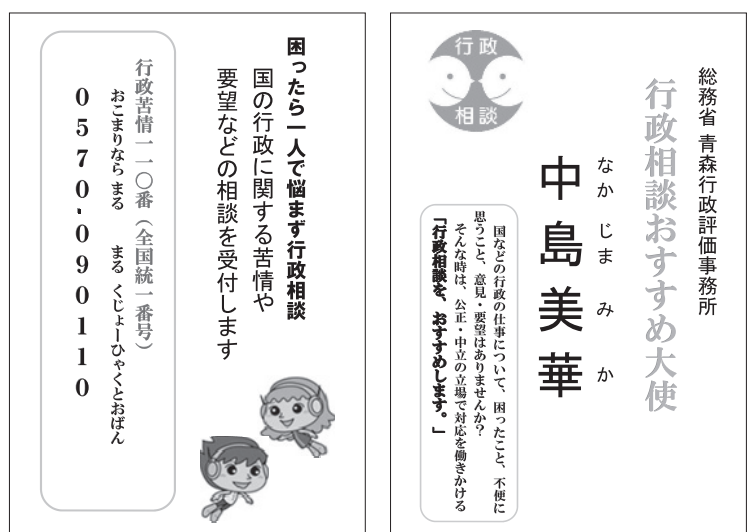
相談』の役割は大切です。地域の声を聴き、地域の声を届ける。今後も皆様の活躍を期待しています。私も『行政相談』と『行政

相談委員』の皆さんのこと、ご紹介し続けたいと思います。

プロフィール
 テレビ・ラジオリポーター、ラジオパーソナリティー、タレント、司会、ナレーション、うたいびと、八戸せんべい汁研究所“福”所長、などなど。
 地域に根ざした、地域の活性化や地域密着活動にも積極的に取組中。
 民放ラジオでレギュラーを務める番組は、平成29年で900回を越える人気。



クリアファイル(裏)



名刺